

藤田ひかるさん(徳島市立2年)優秀賞

徳島など10府県の高校生が集う「第37回近畿高校総合文化祭」の放送文化アナウンス部門で、徳島市立高2年の藤田ひかるさん(17)が第2席の優秀賞に選ばれた。

21校から23人が出場した。それぞれが自由なテーマで書いた原稿を、1分半の制限時間内で発表。原稿の内容や間の取り方、話すテンポが審査された。

藤田さんは、8月20日に徳島市内で外国人向けの落語会を開いた県出身の落語家桂七福さんにインタビューストをした。「落語を始めたきっかけは」「徳島で落語をやる理由は」など質問を重ねた。

原稿は9月末から作成を始めた、数十回書き直したという。落語会当日に約30人の外国人が桂さんの軽妙な語りで笑う場面や、外国人を相手に

「聞き手に響くように」

初めて落語会を開いた桂さんの感想をまとめた。

大会の発表では、聞き手が情景を想像できるような、声のトーンや話すスピードを変えながら伝えた。笑い声に包まれた落語会の雰囲気も臨場感たっぷりだった。メリハリを付けた。

藤田さんは「練習の成果が評価されて自信になった。聞き手の心に響くように、表情や発音に気を付けて、原稿を読む努力を続けたい」と話している。(古村)



放送文化アナウンス部門で優秀賞に輝いた
徳島市立高の藤田ひかるさん(17)同校